

事業計画書

事業名	福祉のまちづくり推進のためのシンポジウム・先進地見学事業
団体名	バリアフリーまつど市民会議

★貴団体が申請する事業について、お伺いします。

1. どのような地域課題を解決したいのか、その現状や背景などについても含めて記載してください。

少子高齢化が急速に進む現在は、高齢者や障害のある人、乳幼児のいる親子連れなど、誰もが暮らしやすいまちづくりの実現が求められている。しかし地域によっては、危険な道路、配慮のない交通体系、市民の無理解など、障害のある人や子供連れの親子などが、暮らしにくさを感じている現状がある。そして、一般市民が、様々な人々に配慮した福祉のまちづくりのあり方や具体的なお手伝いの方法等について知る機会はあまりない。

そこで、多くの市民が福祉のまちづくりに対して関心を持ち、その担い手として、日頃の生活の中での確かな行動ができるよう、福祉のまちづくりの普及・啓発を行う。具体的には、福祉のまちづくりに関するシンポジウムの開催と先進地域・事業の見学（障害のある人もない人も参加）を行い、福祉・教育・行政等の関係者の意見交換を行うと共に、広く一般の人々の意識の啓発を図る。

2. それらの課題を解決することで、どのような地域にしたいのかを記載してください。

シンポジウムの開催や見学会を通じて、市民の福祉のまちづくりへの意識・関心が高まり、障害のある人、高齢者、子どもへの具体的な支援の方法等も学ぶことができる。また、福祉のまちづくりのボランティア育成、関係者のネットワーク化により、子供から大人まで幅広い世代にむけた啓発活動を実施することができる。これらにより、乳幼児から高齢者や障害のある人まで、さまざまな人が安心して暮らせるまちづくりが各地域において推進されると考えられる。

3. どのような地域課題の解決につながるのかが、分かるように事業内容を記載してください。

・事業内容

バリアフリーの道路整備、コミュニティバスを含む交通体系、心のバリアフリーなどは、福祉のまちづくりの核となるため、これらを中心的テーマとして、シンポジウムの開催と見学会を行う。

1) シンポジウムの開催

福祉のまちづくりの先進事例に関する講演を聞き、さらに市内における福祉・教育関係者により、福祉のまちづくり教育に関する取り組みを紹介してもらう。今後の福祉のまちづくりのあり方、その普及・啓発のあり方について、それぞれの立場から意見交換を行う。

2) 見学会の開催

幅広い市民に呼び掛けて、福祉のまちづくりの先進地・事業の見学会を実施する。見学会を通じて、地元、松戸の福祉のまちづくりの今後の取り組みの方向性についても知見を得る。

・想定スケジュール（事業内容について、具体的な取り組みを下記のとおり記載してください）

	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など
4月～6月	シンポジウム企画案作成 講師の選定、案内状の発送	

7月～9月	シンポジウムの開催。仮称「ちょっとした工夫と気遣いで福祉のまちづくり」。切実な想いと先進例などを学ぶ	・福祉、教育、行政などの関係者と市民の意見交換、80人 ・市民センター小ホールなど
10月～12月	シンポジウムまとめ、ネットワーク化に向けた情報交換の実施、見学会準備	
1月～3月	見学会実施・事業のまとめ	福祉のまちづくり条例などを持っている自治体などの先進例を学び、ハード面の現状も見学する。30名、福祉バスなどをチャーター。

4. 事業に取り組む上での達成目標を記載してください

※事業目標は、できるだけ数値などを用いて、具体的に記載してください。

- 1) 福祉のまちづくりに理解のある人を増やす、シンポジウム参加 80 名
- 2) 見学会への参加で一層の理解と活動に確信を持つ。 参加 30 名、
- 3) 二つの取り組みを通じて、福祉のまちづくりのボランティアの育成及び、関係機関とのネットワーク作りの土台を作る。

5. 助成金終了後、どのような活動に取り組むのかを記載してください。

- ・ネットワークを生かした福祉のまちづくりの普及・啓発活動の継続
- ・多くの市民世論の高まりで、「福祉のまちづくり条例」（仮称）を持つ松戸市をめざす。

事業の予算計画書

【収入】

請者	(自己資金) 会費・寄付	金額	積算内訳
			30,000 円
	見学会参加費	30,000 円	
	自己資金合計 (a)	60,000 円	
市	助成金申請額 (b)	100,000 円	
	収入合計 (c) (a+b)	160,000 円	

【助成金申請額 (b) チェック項目】

1. 対象となる経費 (d) 欄の 90%以内
2. 1 事業あたり 10 万円以内

【支出】

交付対象経費	項目	金額	積算内訳
	貸切バス	80,000 円	中型バス 1 日 (福祉バス)
	講師謝礼	30,000 円	(15,000×1名)+(5,000×3名)
	消耗品	15,000 円	資料コピー、ちらし印刷、写真
	会場費	10,000 円	実行委員会・シンポジウム会場
	保険料	3,000 円	行事保険
	通信費	7,000 円	案内状の発送
	対象となる経費合計額 (d)	145,000 円	
その他	会議費	5,000 円	
	会員外スタッフ交通費	10,000 円	@500×20 人
	その他経費合計額 (e)	15,000 円	
	事業費 (f) (d+e)	160,000 円	

※ 対象となる経費、対象とならない経費については、募集要項を参考にして下さい。